

霞ヶ浦の令和5年度水質概況について

令和6年6月13日（木）

県民生活環境部環境対策課

1 湖内の状況

(1) COD (図1)

全水域平均で7.8 mg/Lとなり、令和4年度（7.5 mg/L）より0.3 mg/L高くなった。近年は7 mg/L台で推移している。

(2) 全窒素 (図2)

全水域平均で0.85 mg/Lとなり、令和4年度（0.69 mg/L）より0.16 mg/L高くなった。長期的には横ばいだが、近年は低下傾向で推移している。

(3) 全りん (図3)

全水域平均で0.090 mg/Lとなり、令和4年度（0.083 mg/L）より0.007 mg/L高くなった。近年は横ばいで推移している。

図1 COD(年平均値)

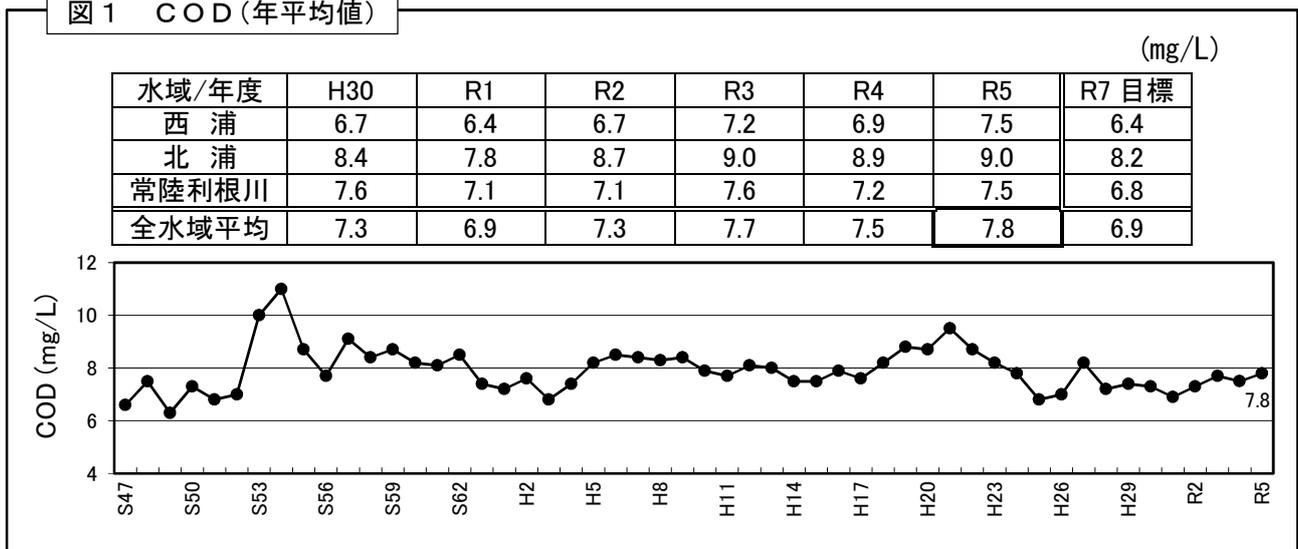


図2 全窒素(年平均値)

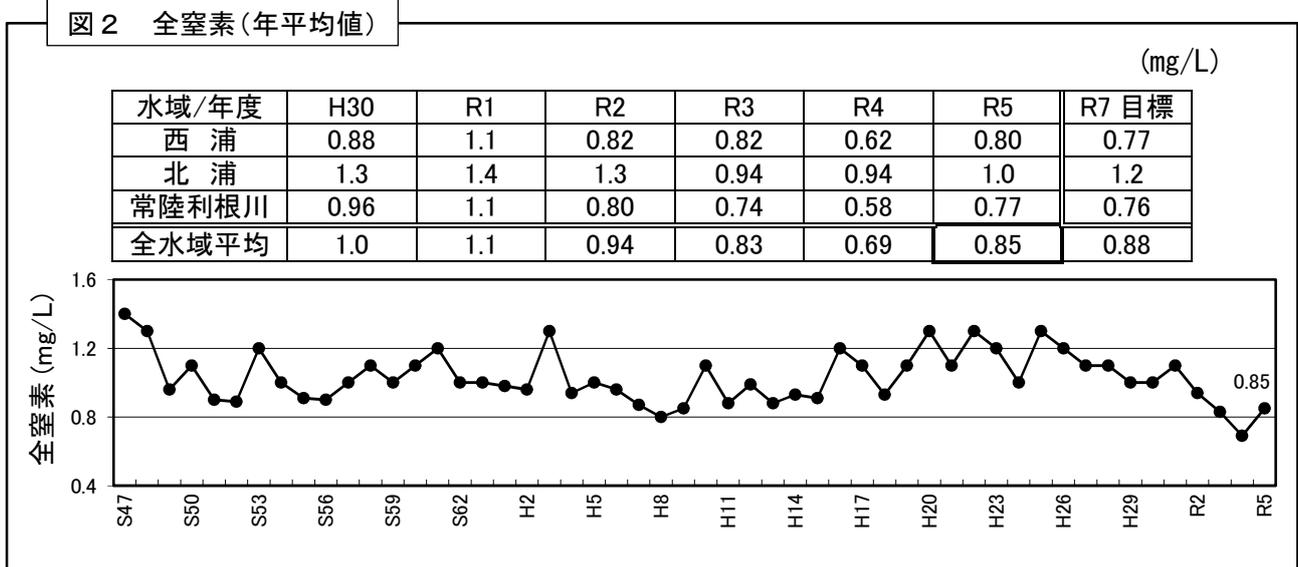
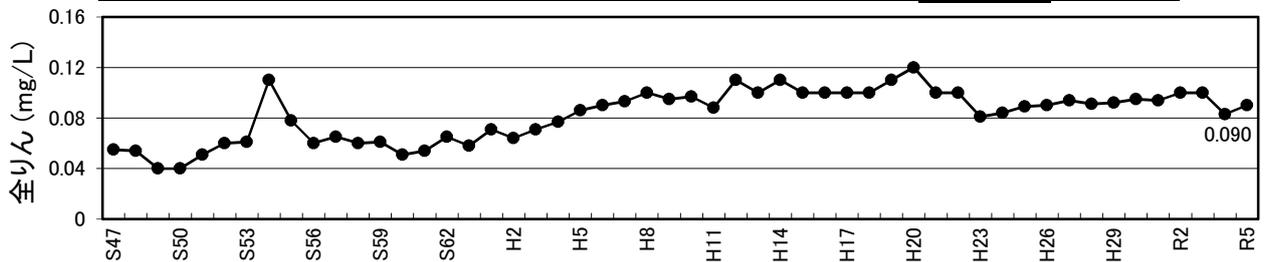


図3 全りん(年平均値)

水域/年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R7目標
西浦	0.084	0.088	0.092	0.098	0.077	0.085	0.087
北浦	0.12	0.11	0.13	0.11	0.096	0.098	0.12
常陸利根川	0.093	0.091	0.097	0.095	0.083	0.092	0.093
全水域平均	0.095	0.094	0.10	0.10	0.083	0.090	0.095



2 流入河川の状況

(1) COD

西浦及び北浦流入河川ともに、長期的には低下傾向にある。

(2) 全窒素

西浦流入河川は、長期的には横ばいである。

北浦流入河川は、平成15年度以降ほぼ6～7 mg/L程度で推移している。

(3) 全りん

西浦及び北浦流入河川ともに、近年は0.1 mg/L以下で推移している。

